

平成 31（令和元）年度地域福祉活動支援事業 報告書

<p>組織・グループ名</p>	<p>特定非営利活動法人 よこはま言友会</p>
<p>活動区分 ※いずれか1つに○をつける。</p>	<p>● 一般助成 〔 当事者活動支援 ・ 福祉の学び推進 ・ 地域福祉ニーズ(課題)対応 ・ 地域福祉コミュニティ構築 〕</p> <p>● 協働事業助成 〔 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動 2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 〕</p>
<p>助成事業名</p>	<p>親子きつおん交流会</p>
<p>助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。</p> <p>〔目的〕 吃音の子供たちと保護者のサポートを講演会と交流会で深めていく。</p> <p>〔日時〕 令和元年 10 月 20 日</p> <p>〔会場〕 ウィング横浜</p> <p>〔参加費〕 無料</p> <p>〔講演者〕 長野県東御市民病院 餅田亜希子先生 長野県松本市梓川診療所 内藤麻子先生</p> <p>〔参加者〕 148 名 （うち、神奈川県内参加者 114 名 子ども参加 48 名）</p> <p>〔内容〕 下記の3プログラムを同時に開催しました。</p> <p>保護者対応 「本当に知っていますか、吃音のこと～吃音の正しい理解と啓発のために～」 長野県東御市民病院 餅田亜希子先生</p> <p>小学校3年生～高校生 「いっしょに知ろうよ～きつおんってなあに～」 長野県松本市梓川診療所 内藤麻子先生</p> <p>幼児～小学2年生 「みんなで遊ぼう！なかよしタイム」 よこはま言友会 お菓子のつかみ取りも実施。</p> <p>〔参加者の感想〕</p> <p>「連発で話してもいい」ということを子どもに伝えることが大事ということがわかった。親も子ども自身も連発になってはだめだと思いこんでいた。連発で安心して話せる環境づくりをしていきたい。学校の先生やお友達にも正しい知識をもってもらいたい。その為に何をすればいいのかがわからない。連発で話すことによって今後困難な状況に対面した時にどうすればよいか？わからない。電話でききとってもらえないときなど。今日はありがとうございました。親子で吃音に対する正しい知識を身につけていこうと思います。(保護者さん)</p> <p>〔今後の展望〕</p> <p>アンケートの結果から、「親子きつおん交流会を今後ともぜひ続けていただきたい」との感想が多く来年度も開催を予定する。</p>	



いっしょに知ろうよ～きつおんってなあに～

開催時集合時 写真



本当に知っていますか、吃音のこと

